

2003年3月20日

## 米英軍のイラク攻撃開始について中央執行委員会が声明を発表

### ○イラク攻撃開始に際しての中央執行委員会声明

本日午前11時過ぎ（日本時間）、平和解決を願う圧倒的多数の国際世論に背を向け、自らの「正義」の論理にのみ固執する米英政府は、国連決議もないままイラクへの武力侵攻を開始した。

国連憲章をも無視したこうした超大国の身勝手な一国主義に断固抗議する。また、ひたすら、ときの米国政府に追従する以外に選択肢を持たないわが国政府に対し強く遺憾の意を表明するとともに、武力攻撃支持の側に立った日本を標的とするあらゆる不測の事態に対し、政府は全ての責任を負う立場にあることを明らかにし、日本人船員および共に乗組む外国人船員の安全確保について万全を期すよう強く政府に求める。

今、差し迫って懸念されることは、ペルシャ湾および中東周辺海域に就航する日本人船員・外国人船員（非居住特別組合員）の安全問題である。既に、これら安全対策については日本船主協会・外航労務部会との労使協議はじめ、国際船員協会との間に、非居住特別組合員の安全確保に関する「安全問題協議会」を設置するなど、事前の対策を講じてきているが、本日以降、3月18日付で組織内に設置した「イラク攻撃事態対策本部」を中心に、現場各船ならびに各社・各関係諸団体と緊密に連携し引き続き乗組員の安全確保に全力を挙げる。

2003年3月20日

全日本海員組合中央執行委員会